



平成30年5月15日
第809号

一般財団法人日本遺族会
〒108-0074 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
振替 00160-6-25389
編集 発行人 村上和男
毎月 1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社 春季例大祭を斎行 天皇陛下より御幣帛が奉納

靖国神社では四月二十一日から二十三日までの三日間にわたり春季例大祭が斎行され、天皇陛下より勅使が差し遣わされ御幣帛が奉納された。内閣総理大臣等は大本陣を奉納した。また、例大祭前日には、超党派国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久本会名誉顧問)が揃って昇殿参拝した。

靖国神社春季例大祭は、四月二十一日の「清祓」で始まり、翌二十日には「当日祭」が斎行され、全国から戦没者遺族をはじめ崇敬者、各界の代表など約六百人が参列して厳粛に執り行われた。

四月二十二日午前十時、小堀邦夫宮司以下の神職が本殿に進み、國學院大學吹奏楽部が「山の幸」を演奏するなか、神饌を献じ小堀宮司が祝詞を奏上した。

混声合唱団が「鎮魂頌」を奉唱。「靖国神社の歌」を奏唱。小堀宮司に続き、水落敏栄本会会長(参議院議員)はじめ、英霊にこたえる会、神社本庁、全国護国神社会、靖国神社崇敬奉賛会の代表など特別参列者が本殿に進み玉串拝礼を行った。

祭典終了にあたり小堀宮司が挨拶し、今年三月に宮司に就任したことを報告。続いて来年、今上陛下の御譲位と皇太子殿下御即位があることに触

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。
年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)
お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

思わず「緑のそよ風」と口ずさんでしまいたい。そんな今、藤の花も今年は大層早く咲きつじや石楠花と共に5月の香りが漂う。そして田に水が入ると例年のごとく蛙の合唱が始まった。微笑ましく、何とものどかな季節である▼そんな中いよいよ九段会館の解体工事が着工。仮称「九段南一丁目プロジェクト」解体工事」という由。平成34年の完成を目指し動きだした。昭和9年軍人会館として竣工し32年に国から本会へ無償貸与、遺族の殿堂として数々の歴史を刻んできた九段会館。新築部分は地上17階地下3階と高層ビルに。また外観の面影や二・二六事件の戒厳司令部、ラストエンペラーの実弟愛新覚羅溥儀と嵯峨浩の披露宴会場等は保存や復原によって残される。竣工以来84年、昭和初期の価値ある建築様式はまた、遺族会の歴史と共に後世に伝えていかねければなるまい▼ポーランドのワルシャワでドイツ軍占領下でゲット(ユダヤ人居住区)に隔離された市民がナチスに抵抗した蜂起事件から75年を迎え、追悼式典があった。若者が拳銃や爆弾で抵抗したが鎮圧されたという。生存者らは「歴史を語り継ぐ事が最も大切だ」と口をそろえ、ユダヤ歴史博物館の館長もまた、証言に耳を傾け歴史と向きあう事でウソを見抜く目を養う重要性を指摘した。…まさに将来のために(A)

慰霊友好親善事業参加者募集(詳細は3面に)

遺児巡拝

戦没者遺児の皆さんへ

戦没者遺児による慰霊友好親善事業への参加募集のご案内

この事業は戦没者遺児に対する慰霊の一環として父等を国に捧げた戦没者の遺児が、一度は亡き父等の眠る地に赴き、心ゆくまでの慰霊追悼を行うとともに、現地の方々と友好親善を深めることを目的としたもので、日本遺族会が平成3年度より政府の補助を受け実施しております。

平成30年度実施予定地域等(広域地域)

1. 韓国	平成30年 9月1日～9月10日
2. 台湾	平成30年 9月20日～9月28日
3. タイ	平成30年 9月5日～9月12日
4. 中国(上海)	平成30年 9月6日～9月12日
5. 中国(北京)	平成30年 9月14日～9月23日
6. 中国(香港)	平成30年 9月25日～10月5日
7. マリアナ群島	平成30年 10月10日～10月16日
8. フランス(パリ)	平成30年 10月20日～10月27日
9. フランス(リヨン)	平成30年 11月2日～11月9日
10. ロンドン	平成30年 11月21日～11月28日
11. シンガポール	平成30年 11月27日～12月6日
12. 韓国(釜山)	平成31年 1月18日～1月24日
13. アメリカ(ワシントン)	平成31年 2月9日～2月17日
14. フランス(パリ)	平成31年 2月13日～2月20日
15. 中国	平成31年 2月22日～3月30日

(詳細は募集要項を参照)

平成30年度実施予定地域等(特定地域)

1. 韓国(釜山)	平成31年 2月4日～2月13日
2. 韓国(仁川)	平成31年 2月13日～2月20日
3. シンガポール	平成31年 2月26日～3月6日

(詳細は募集要項を参照)

平成30年度実施予定地域等(特定地域)

1. 韓国(釜山)	平成31年 2月4日～2月13日
2. 韓国(仁川)	平成31年 2月13日～2月20日
3. シンガポール	平成31年 2月26日～3月6日

(詳細は募集要項を参照)

詳細についての問い合わせは
各都道府県遺族会事務局
(一財)日本遺族会 事務局
〒108-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17
電話 03-3261-5521

本会関係者に 30年春の叙勲 栄誉

政府は平成三十年春の叙勲及び褒章受章者を発表しました。栄誉に輝いた本会関係者は次の方々です。

▼旭日双光章
森田 智氏(76歳)
本会評議員、鳥取県遺族連合会副会長兼女性部長

▼旭日単光章
野間 征子氏(76歳)
本会評議員、大阪府遺族連合会副会長兼女性部長

謹 哀悼

佐々木吉郎氏 日本遺族会元理事(岩手県遺族連合会元会長)
四月十四日、逝去された。百歳。葬儀は、釜石市の盛岩寺で行われた。喪主は三男英十氏。

佐々木吉郎氏 日本遺族会元理事(岩手県遺族連合会元会長)
四月十四日、逝去された。百歳。葬儀は、釜石市の盛岩寺で行われた。喪主は三男英十氏。

靖国神社社務所 献灯係
お問い合わせ
〒102-8246 東京都千代田区九段北三二二
電話 03(3261)8326(代)

小型献灯
大型献灯

靖国神社
みたままつり
献灯のご案内

靖国神社みたままつりが、七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。

ご遺族・戦友会・崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。

献灯初穂料
小型献灯 一灯につき 三千元
大型献灯 一灯につき 一万二千元

お申し込みは、左記の靖国神社社務所献灯係までお問い合わせください。
申込要領等をお送りいたします。

春季例大祭に150人

みんなで参拝国会議員の会

靖国神社

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は、靖国神社・春季例大祭がはじまる前日の四月二十日午前八時、自民党、希望の党、日本維新の会、日本のこころ、無所属の衆・参国会議員百五十人(本人七十六人、代理七十四人)が揃って参拝した。

四月二十日午前八時、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、二十一日からの靖国神社の春季例大祭に合わせ昇殿参拝した。

水落敏栄文部科学副大臣(本会会長)と参議院議員(尾辻秀久)をはじめ、奥野信亮参議院副大臣、佐藤正久外務副大臣、大臣政務官三人、吉田博美自民党参議院幹事長、自民党、希望の党、日本維新の会、日本のこころ、無所属の衆・参国会議員百五十人(本人七十六人)が揃って靖国神社に昇殿参拝した。

尾辻会長は参拝後に記者会見し、安倍晋三総理大臣が平成二十五年十二月以降、参拝していないことについて「まさに内憂外患、多事多難なときだ。こういうときだから「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した衆・参議員は次のとおり。

- (党派別、敬称略) 議員本人参拝
- 【無所属】重徳和彦
 - 【参議院】
 - 【自民党】あべ俊子、池田道孝、井上信治、岩田和親、衛藤征士郎、大串正樹、大塚高司、大西英男、奥野信亮、小里泰弘、加藤寛治、金子恭之、北村誠吾、櫻田義孝、佐々木紀、佐藤明男、繁本護新、新谷正義、杉田水脈、高木毅、高島修一、高橋ひなこ、田畑裕明、津島淳、富樫博之、長尾敬、中谷真一、中山展宏、西田昭二、根本幸典、原田憲治、平井卓也、藤丸敏、古屋圭司、星野剛士、細田健一、堀内詔子、三ツ林裕巳、宮内秀樹、富澤博行、務台俊介、山口俊一、山田賢司、山田美樹、渡辺博道
 - 【希望の党】源馬謙太郎
 - 【無所属】重徳和彦
 - 【参議院】
 - 【自民党】青山繁晴、赤池誠章、石井正弘、磯崎仁彦、岩井茂樹、宇都隆史、江島潔、尾辻秀久、佐藤正久、島田三郎、滝波宏文、塚田一郎、柘植芳文、豊田俊郎、中曽根弘文、野村哲郎、堀井巖舞、立昇治、松村祥史、三
 - 【自民党】赤澤亮正、あきもと司、甘利明、井



昇殿参拝に向かう「みんなで参拝する国会議員の会」=4月20日、靖国神社で

- 工藤彰三、熊田裕通、後藤田正純、左藤章、塩崎恭久、塩谷立、鈴木俊一、鈴木淳司、高市早苗、高木啓、武井俊輔、竹下亘、棚橋泰文、田村憲久、土屋品子、寺田稔、渡海紀三朗、富岡勉、永岡桂子、長坂康正、中谷元、中村裕之、西村明宏、丹羽秀樹、野田聖子、橋本岳、葉梨康弘、古川康、松本純、三ツ矢憲生、宮川典子、武藤容治、築和生、山口泰明、山本拓
- 【自民党】青木一彦、朝日健太郎、有村治子、井原巧、衛藤晟一、大家



参拝後、記者会見に臨む「みんなで参拝する国会議員の会」尾辻秀久会長=4月20日、靖国神社で

旧ソ連・硫黄島・南方地域で

遺骨収集参加者募集

日本遺族会では、平成三十年度戦没者遺骨収集事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺骨をはじめ、孫、曾孫、甥、姪等の青年部も広く登録願いたい。

申込登録要項は次のとおり

▼派遣実施予定地域及び期間 遺骨収集実施予定表参照

※相手国行政機関等との調整、現地の治安状況等の理由により事業が変更される可能性がある。

更中止となる場合がある。

▼参加資格 ①原則年齢制限はなく、身体健康な者で現地で作業等に従事できる者 ②各都道府県遺族会の会員である戦没者の遺児、孫、ひ孫、甥、姪で、身体健康な者 ③本会の協力団体関係者並びに、本会事業の推進に賛同した業者

※派遣者は健康診断書並びに宣誓書の提出が義務付けられており、参加の有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。

▼参加登録方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。

参加登録にあたり申込用紙を取り寄せ、全ての項目に記入したうえで、提出願いたい。

なお、参加希望者が推進協会から指定された定員を上回る場合は、選考となる。

30年度 遺骨収集実施予定表

No.	地域名	派遣期間
1	ハバロフスク地方(第1次)	7月23日(月)~8月8日(水)
2	ザバイカル地方	7月23日(月)~8月8日(水)
3	クラスノヤルスク地方	8月6日(月)~8月22日(水)
4	ブリヤート共和国	8月6日(月)~8月22日(水)
5	沿海地方	8月27日(月)~9月12日(水)
6	ハバロフスク地方(第2次)	8月27日(月)~9月12日(水)
7	トラック諸島	10月14日(日)~10月25日(木)
8	ビスマーク・ソロモン諸島(第1次)	10月24日(水)~11月8日(木)
9	マリアナ諸島	11月6日(火)~11月16日(金)
10	樺太・占守島	11月13日(火)~11月21日(水)
11	パラオ諸島	12月1日(土)~12月13日(木)
12	ギルバート諸島	1月15日(火)~1月30日(水)
13	インド	1月25日(金)~2月8日(金)
14	硫黄島(第4回)	1月29日(火)~2月14日(木)
15	東部ニューギニア	2月13日(水)~2月28日(木)
16	マーシャル諸島	2月24日(日)~3月7日(木)
17	ミャンマー	2月26日(火)~3月14日(木)
18	ビスマーク・ソロモン諸島(第2次)	2月27日(水)~3月14日(木)

フィリピン地域で

遺骨調査・収集事業が再開

平成二十二年十月以降、中断していたフィリピン地域での遺骨調査・収集事業がようやく再開される運びとなった。

当時、厚生労働省が「海外未送還遺骨情報収集事業」の業務を委託したNPO団体が収容した旧日本兵の遺骨に、フィリピン人の遺骨が混入されているのではないかと報告を受け、事業が中断された。その後、事実関係を包含め検証が行われた結果、これまで帰還した遺骨にフィリピン人のものが混入している事実は認められなかった。しかし、フィリピン側に、フィリピンにおける遺骨収集事業に疑念を抱かせたこと

から、日本とフィリピン政府との間で事業の見直し作業が進められていた。本会では、フィリピン地域への遺骨収集事業再開に向け会を挙げ、厚生労働省に対し遺骨収集

等の再開を強く働きかけていたが、なかなか作業は進まなかった。

しかし事態を打開するため、昨年十一月、フィリピンで開催されたAP E C(アジア太平洋経済協力)の会議に出席した安倍晋三内閣総理大臣が、フィリピンのドゥテルテ大統領に対し直接、フィリピンでの遺骨収集事業が促進される事が期待される。

第44回総会を開催

代表百十余人が出席

英霊にこたえる会は四月二十三日、第四十四回総会を東京・ホテルグランドヒル市ヶ谷で地方本部、中央参加団体の代表百十余人が参加し開催した。

総会は寺島泰三同会会長の挨拶の後、平成三十年度表彰式が行われ、一

団体、個人六十五人が表彰された。表彰者を代表して埼玉県遺族連合会の江田肇理事長に表彰状が授与され、謝辞を述べた。続いて議案の審議に入り、地方本部会長の交代、平成二十九年事業等の実施について報告された。さらに、平成二十九年



平成30年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

Table with columns: 実施地域, 実施時期, 募集人員, 申込締切. Lists various regions like 旧満州, 旧ソ連, ビスマルク諸島, etc., with specific dates and participant numbers.

上記15地域以外の特定地域として下記3地域を行う予定です。

Table with columns: 実施地域, 実施時期, 募集人員, 申込締切. Lists 西部ニューギニア, 東部ニューギニア, and ミャンマー.

下記地域については、応募状況によって機上通押等を実施する場合があります。

日本遺族会は、厚生労働省の委託事業である海外民間建立慰霊碑移設等事業で、三月二十一日から二十九日の期間、フィリピンのルソン島へ二人を派遣し、厚生労働省が管理状況を不良と判定した慰霊碑で、特定の管理者がいない等の理由で放置され劣化している慰霊碑の埋設等を実施した。

フィリピンで台座を埋設 慰霊碑移設等事業 キナワン村の台座を地権者の同意書を取り付けたうえで埋設した。この他、ベンゲット州アトックとブラカン州イボダムの木製追悼碑が地権者により既に撤去されていたことを確認した。

本会事業参加者の皆様へ 本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されたい。



海岸に設置されていた台座を埋設する。3月27日、バタワン州キナワン村で。

好問 友訪 慰親 霊善 遺児の参加者募集 ホスキンス・ラシオ等を実施 日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集している。

本会への賛助金のお礼 本紙(同面)でもお願している本会への賛助金につきまして、ご賛助いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族保護、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

靖国神社 御創立 百五十年記念事業 ご奉賛のお願い 靖国神社では、平成三十二年に御創立百五十年の節目の年を迎えるにあたり、現在、次の三つの事業を計画し、実施いたしております。

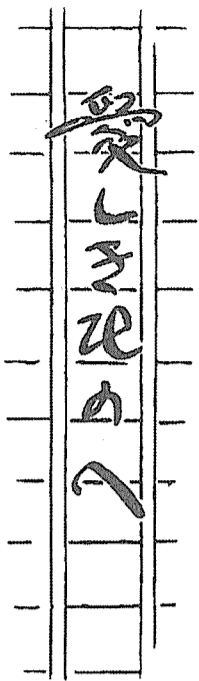
靖国神社 御創立 百五十年記念事業 靖国神社 崇敬奉賛会事務局 102-8246 東京都千代田区九段北三二一-1 電話 03(3261)8143(直通) 受付時間:平日午前9時~午後5時

昭和館で特別企画展

期間中の入場者四一、二六六人

昭和館で、三月十日から五月六日までの間、「希望を追いかけて〜フロリダ州立大学所蔵写真展」と題して、特別企画展が開催された。本展では、戦後まもない昭和二十一年から二十五年まで、GHQ(連合国総司令部)の職員として日本に滞在した鳥類学者オリバー・L・オースティンJr.が撮影した写真約七十点が紹介された。

オリバー・L・オースティンJr. (Oliver L. Austin Jr. 一九〇三〜一九八八) はGHQ(連合国総司令部)によるNR S(天然資源局)の創設にともない、昭和二十一年(一九四六)九月に来日し、二十五年二月まで各地の都市や農村にわたり、人々の様子を写真に撮り、その写真を写し、田舎の自宅で餅つき大会やクリスマスパーティを開き、家族や友人の写真を多く残している。



遺言書

陸軍伍長 宮井 涼一
昭和二十年九月二十四日
中国牡丹江省寧安県にて戦死
大阪府岸和田市土生滝町出身 二十四歳

皇國の為に死するとも 軍人の本懐なり
我行かん 靖國社頭の若櫻 七生報國
敵の為に死するとも 再度生まれ来て敵を倒さん
遺言としても自分には心残り無し
唯、御両親にこれといふ孝行も致さず
先立つ不孝を御許し下さい。
生母の愛を我天に聞く

昭和二十年一月十四日

陸軍二等兵 宮井 涼一

【平成三十年五月靖國神社頭掲示】
愛しきものへ

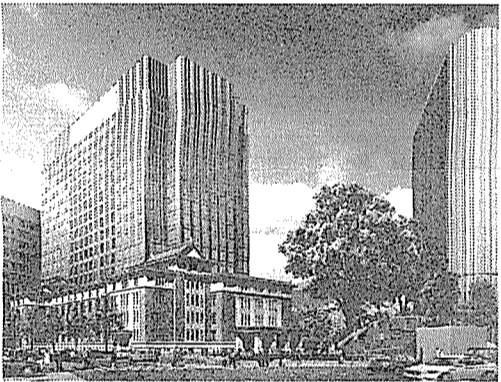
オリバー・L・オースティンJr.が日本滞在中に撮影したカラー写真約七十点が、フロリダ州立大学所蔵写真展として展示された。その写真は、田舎の自宅で餅つき大会やクリスマスパーティを開き、家族や友人の写真を多く残している。

オリバー・L・オースティンJr.が日本滞在中に撮影したカラー写真約七十点が、フロリダ州立大学所蔵写真展として展示された。その写真は、田舎の自宅で餅つき大会やクリスマスパーティを開き、家族や友人の写真を多く残している。

九段会館跡地

一部保存 建替え 工事はじまる

東急不動産株式会社と鹿島建設株式会社が出資する合同会社ノヴェグランドは、東京都千代田区九段南一丁目一に所在する九段会館および同敷地について、平成三十年三月一日に国との間で合意書を締結し、七十年度の定期借地による九段会館の一部保存・建て替え事業に着手し、工事が始まった。



九段会館の一部保存と建替えの完成予想図

沖縄戦跡慰霊巡拝

関係遺族の参加者募集

日本遺族会は、本会主催の沖縄戦跡慰霊巡拝の実施を予定している。この慰霊巡拝は、太平洋戦争末期、住民を巻き込んだ激しい地上戦の戦場となった沖縄を巡り、各地で亡き肉親の慰霊祭を執り行い、戦没者の冥福と

恒久平和を祈念することを目的に参加者を募集している。
募集要項は次のとおり。
▼実施時期 十月二十三日(火)〜十月二十七日(土)の四泊五日を予定
※参加者は、本会が指定した沖縄のホテルに集合し、事業終了後、沖縄で解散となる。
▼募集人員 四十人(予定)
※募集人員を上回った場合は選考となる。
▼参加資格 沖縄及び周辺地域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、遺児、孫、兄弟・姉妹、甥・姪等)
※原則として、長途の移動及び気候・風土の異なる地での旅行に耐えられる健康状態が良好な方に限るので、心配な方は申込みの際に事前に申告願いたい。
▼参加費用 7万円(8万円程度)
※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の沖縄までの往復交通費等は別途個人負担となる。
▼申込締切 八月三十一日(金)

3県で日章旗返還

OBONソサエティ

戦没者の遺品の返還活動が無償で行っているOBONソサエティから本会に照会があった元米兵が戦地から持ち帰った日章旗について、島根県、愛知県、滋賀県で、それぞれ遺族が判明し、無事返還された。
島根県では、フィリピンで戦死した雲南市大東町出身の細木恭一さんの日章旗の遺族が判明し、三月二十日、大東地域交流センターで返還式があり、雲南市遺族会の難波幸夫会長から細木さんの次男の俊樹さんへ日章旗が引き渡された。俊樹さんは「形見といふべき日章旗を早速、仏前に供え、亡き父を偲びたい」と涙ながらに語った。
愛知県では、フィリピンのルソン島で戦死した加藤達郎さんの甥にあたる拓さんが名古屋市内に在住していることが判明し、三月二十九日、名古屋



来日したOBONソサエティ代表と元米兵の孫らから、直接三遺族へと手渡された=4月5日、滋賀県護国神社で

合し、事業終了後、沖縄で解散となる。
▼募集人員 四十人(予定)
※募集人員を上回った場合は選考となる。
▼参加資格 沖縄及び周辺地域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、遺児、孫、兄弟・姉妹、甥・姪等)
※原則として、長途の移動及び気候・風土の異なる地での旅行に耐えられる健康状態が良好な方に限るので、心配な方は申込みの際に事前に申告願いたい。
▼参加費用 7万円(8万円程度)
※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の沖縄までの往復交通費等は別途個人負担となる。
▼申込締切 八月三十一日(金)

地方だより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。
▼徳島県 4月14日 第43回語り部事業(45人)
▼香川県 4月18日 「讃岐の奉公塔」建立50周年記念香川県戦没者追悼式(110人)
▼徳島県 4月14日 第43回語り部事業(45人)
▼香川県 4月18日 「讃岐の奉公塔」建立50周年記念香川県戦没者追悼式(110人)

『九段短歌』再開のお知らせ

平成28年10月号から、長らく休載しておりました「九段短歌」を6月号より再開する予定です。新たに、安元百合子さんを選者に迎え準備を進めておりますので、読者の皆様の作品を本紙宛にどしどしお寄せください。◎作品には必ず住所氏名、郵便番号を明記してください。なお、お寄せいただいた作品の原稿は返却いたしませんので予めご了承ください。